

文学研究科のみなさんは、『大学院履修要項』と『履修の手引き(本誌)』を用い、計画的な履修を行ってください。

1. 『大学院履修要項』記載の主な事項

- 科目名・担当者一覧（全研究科・専攻）
- 科目の履修方法
- 学則および諸規定
- 学年暦

2. 『履修の手引き(本誌)』記載の主な事項

- 履修体系
- 学位取得までのプロセス
- 科目登録について（登録要領）
- 時間割
- その他

3. 2019 年度 大学院専攻教務主任について

専攻	教務主任
哲学専攻	中川 明才
英文学・英語学専攻	金津 和美
文化史学専攻（日本史）	佐野 静代
文化史学専攻（西洋史）	堀井 優
国文学専攻	西川 貴子
美学芸術学専攻	大愛 崇晴

目次

■博士課程(前期課程)履修体系	2
■博士課程(後期課程)履修体系	5
■科目登録について(登録要領)	12
■学業成績について	18
■大学院交流研究生	20
■各種取り扱いについて	21
■時間割	23

博士課程(前期課程)履修体系

1. 修業年限と在学年限

標準修業年限は2年です。4年を超えて在学することはできません。

2. 課程修了の要件

修士学位を取得するためには、次の要件を満たさなければなりません。

- (1) 博士課程(前期課程)に2年以上在学すること。
- (2) 授業科目について30単位以上(哲学、英文学・英語学、美学芸術学専攻)または32単位以上(文化史学、国文学専攻)履修すること(詳細は履修要項参照)。
- (3) 「論文」を登録し、必要な研究指導を通算1年以上受け、修士学位論文を提出し、合格すること(「論文」の登録は、春学期・秋学期とも可能)。

3. 履修方法・修了必要単位数

各専攻の授業科目・履修方法等はそれぞれに定められています。詳細は『大学院履修要項』の各専攻のページを参照してください。

指導上必要と認められる場合に限り、単位取得済科目を再履修することが可能です。再履修する場合は自由科目として登録することとなり、修了単位には算入されません(英文学・英語学専攻の学生は、単位取得済科目の再履修は認められません)。

また、他専攻・他研究科科目を履修した場合、哲学専攻および美学芸術学専攻では修了単位に算入されません。

4. 学位論文審査および課程修了の認定

修士学位論文は、在学期間中に審査を終了します。また、課程修了の認定は、研究科長会において行います。

5. 学位の名称

課程修了の認定を得た学生に授与される学位は次のとおりです。

修士(哲学)、修士(英文学)、修士(英語学)、修士(文化史学)、修士(国文学)、
修士(美学)、修士(芸術学)

なお、修士学位の正式な表記は以下のとおりです(●●に自身の学位名を記す)。

修士(●●学)(同志社大学)

6. 修士学位取得までのプロセス

修士学位を取得するためには、①各専攻が定める所定の授業科目を履修し修了に必要な単位数を修得するとともに、②研究指導を通じて修士学位論文を作成しこれに合格しなければなりません。

文学研究科にて修士学位を取得するための各専攻共通の標準的なプロセスは次のとおりです。これに加え、各専攻での指示に従って、各自の研究計画を組み立ててください。

年次	時期	内容
第1年次	年度始め	指導教員の決定
	各学期中	指導教員による研究指導
		演習科目(総合演習など)で研究発表 研究成果公表の推奨
第2年次以上	各学期中	指導教員による研究指導
		演習科目(総合演習など)で研究発表 研究成果公表の推奨
	1月中旬	修士学位論文提出
修士学位論文提出後 (修士学位論文審査)	論文提出後	論文審査委員会の設置(主査・副査)
	1～2月中旬	論文査読・口頭試問
	2～3月上旬	修士学位論文総合審査 (文学研究科委員会、研究科長会)
	3月下旬	学位授与式

語学試験

哲学専攻および美学芸術学専攻については語学試験を課しており、修士学位論文提出の3カ月前までに合格していなければなりません。語学試験は9月と1月に実施し、受験には申し込みが必要です。実施の詳細については掲示にて周知します。

7. 修士学位論文提出について

(1) 提出資格(下記条件全てを満たすこと)

- 所定の年限を在学し、定められた単位を修得した者および見込である者。
- 登録期間(春・秋)に、専攻教務主任の指示により『論文』を登録した者。ただし、3年目以上の者については専攻教務主任の指示によること。
- 哲学専攻および美学芸術学専攻については、修士学位論文提出3カ月前までに語学試験(英語)に合格していること。なお、留学生については別に定める。

(2) その他

- 詳細については、5月に配布を開始する『修士論文提出要領』を参照すること。
- 分納手続きを行っている者も含め、修士学位論文提出時まで学生納付金を完納すること。

8. 修士学位論文審査基準は下記のとおり

大学院文学研究科 修士論文審査基準

1. 趣旨

大学院設置基準第14条の2第2項「大学院は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。」に基づいて、修士論文審査基準を以下のように定める。

2. 審査基準

(1) 内容的要件

- ① 研究テーマの妥当性
研究目的とその必要性、学術的意義を明確に述べていること。
- ② 先行研究との関連性
先行研究や関連研究を十分に検討し、的確に理解していること。
- ③ 研究方法の妥当性
研究テーマ及び問題設定に対して適切な研究方法を選択していること。
- ④ 論理の一貫性・結論の明確性
一貫した論述を展開し、明確な論拠のもとに適切な結論を導き出していること。

(2) 倫理的要件

研究計画の立案及び遂行、研究資料の収集及び管理、研究成果の発表並びに著作権に関して、適切な倫理的配慮がなされていること。

(3) 形式的要件

使用言語、規定分量、文献の引用方法、注、図表、資料、参考文献リストの取扱い等については、各専攻で別途定める。

博士課程(後期課程)履修体系

1. 修業年限と在学年限

標準修業年限は3年です。6年を超えて在学することはできません。

2. 課程修了の要件

博士学位を取得するためには、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 博士課程に5年(博士課程(前期課程)または修士課程を修了した学生は、当該課程の2年の在学期間を含む)以上在学すること。

(2) 必要な研究指導を受けたうえで、学位論文を提出すること。

哲学専攻 2013年度以降生、英文学・英語学専攻 2014年度以降生、文化史学専攻 2016年度以降生、国文学専攻 2015年度以降生、美学芸術学専攻 2013年度以降生は、研究指導に加え、授業科目(コース指導科目)を履修すること(詳細は履修要項参照)。

(3) 学位論文を中心とし、これに関連ある分野について行われる試験に合格すること。

(4) 課程修了の認定は、その研究に必要な外国語によく通じていること。

哲学専攻、英文学・英語学専攻、文化史学(西洋史)専攻、美学芸術学専攻は、2カ国語以上の外国語に通じていることが必要条件となる。

3. 履修方法・修了必要単位数

各専攻の授業科目・履修方法等はそれぞれに定められています。詳細は『大学院履修要項』の各専攻のページを参照してください。

指導上必要と認められる場合に限り、履修済科目を複数回履修し、修了単位に含める場合があります。

4. 学位論文審査および課程修了の認定

博士学位論文は、在学期間中に提出します。提出に際しては、各専攻の指示に従ってください。なお、課程修了の認定は、研究科長会において行い、学位は学位授与式の日付で授与されます。在学中に博士学位論文を提出できない場合は、指導教員に相談してください。

5. 学位の名称

課程修了の認定を得た学生に授与される学位は次のとおりです。

博士(哲学)、博士(英文学)、博士(英語学)、博士(文化史学)、博士(国文学)
博士(芸術学)

なお、正式な表記例は以下のとおりです(●●に自身の学位名を記す)。

博士(●●学)(同志社大学)

6. 博士学位取得のプロセス

文学研究科にて博士学位を取得するための各専攻共通の標準的なプロセスは次のとおりです。これに加え、各専攻での指示に従って、各自の研究計画を組み立ててください。

年次	時期	内容
第1年次	年度始め	「博士課程(後期課程)研究計画書」の提出 研究指導教員・副指導教員の決定 (専攻大学院委員会で決定)
	各学期中	研究指導科目の履修 (特殊研究、演習、総合演習など) 研究成果の公表 (論文発表、学会発表など)
	年度末	「研究成果報告書」の提出
第2年次	年度始め	「博士課程(後期課程)研究計画書」の提出
	各学期中	研究指導科目の履修 (特殊研究、演習、総合演習など) 研究成果の公表 (論文発表、学会発表など)
	年度末	「研究成果報告書」の提出 博士学位論文提出予備審査申請
第3年次以上	年度始め	「博士学位論文作成計画書」の提出 博士学位論文提出予備審査 (文学研究科委員会で合否判定) 論文作成指導教授・副指導教授の決定 (専攻大学院委員会で決定)
	各学期中	研究指導科目の履修 (特殊研究、演習、総合演習等) 研究成果の公表 (論文発表、学会発表など)
	11月末	博士学位論文提出条件の充足 博士学位論文の提出 ※提出については専攻教務主任、事務室に手続きを確認すること。
	年度末	「博士学位論文作成進捗状況報告書」の提出 (博士学位論文未提出者)
	論文提出後	論文審査委員会の設置(主査・副査)
博士学位論文提出後 (博士学位論文審査)	～12月下旬	論文査読、総合試験
	1～3月	博士学位論文総合審査 (文学研究科委員会、研究科長会)
	3月下旬	学位授与式

※ 後述の「博士学位論文作成パターン」も併せて確認してください。

研究指導、論文作成指導および論文審査は、博士後期課程研究指導委員会、博士学位論文作成指導委員会および博士学位論文審査委員会が当たります。これらの委員会は専攻大学院委員会のもとに設置されます。また、それぞれの委員会は、各専攻の指導教員と副指導教員で構成されています(博士学位論文審査委員会の場合は主査と副査)。

7. 博士学位論文提出予備審査の申請

2年間修学(休学期間は含まない)し、各専攻が定める次の基準を満たした者に対し、博士学位論文提出予備審査を行います。予備審査方法は専攻ごとに異なりますので、詳細は指導教員の指示に従ってください。

専攻	予備審査申請基準
哲学専攻	当該研究分野において、学術雑誌に論文を1篇以上発表し、かつ学会発表を1回以上行うこと。
英文学・英語学専攻	当該研究分野において、学術雑誌に論文を1篇以上発表し、かつ学会発表を1回以上行うこと。これに加えて、第二外国語の語学試験に合格していること。
文化史学専攻 (日本史コース)	当該研究分野において、学術雑誌に論文を1篇以上発表し、かつ学会発表を1回以上行うこと。
文化史学専攻 (西洋史コース)	当該研究分野において、学術雑誌に論文を1篇以上発表し、かつ学会発表を1回以上行うこと。
国文学専攻	当該研究分野において、学術雑誌に論文を1篇以上発表し、かつ学会発表を1回以上行うこと。
美学芸術学専攻	当該研究分野において、学術雑誌に論文を1篇以上発表し、かつ学会発表を1回以上行うこと。

8. 博士学位論文提出の条件

博士学位論文を提出するためには、博士学位論文提出予備審査に合格し、論文指導を受けるとともに、次に定める条件を満たしていなければなりません。なお、これはそれぞれ博士課程前期課程からの論文や研究発表を含むものです。

専攻	提出の条件
哲学専攻	当該研究分野において、学術雑誌に論文を2篇以上発表し、かつ学会発表を2回以上行うこと。
英文学・英語学専攻	当該研究分野において、学術雑誌に論文を3篇以上発表し、かつ学会発表を2回以上行うこと。
文化史学専攻 (日本史コース)	①博士学位論文の研究に関する論文3篇以上(うち1篇は全国誌、外国誌または著書)、②博士学位論文の研究に関する学会発表2回以上(うち1回以上は全国学会または国際学会)を目安として公表すること。
文化史学専攻 (西洋史コース)	①博士学位論文の研究に関する論文3篇以上(うち1篇は全国誌、外国誌または著書)、②博士学位論文の研究に関する学会発表2回以上(うち1回以上は全国学会または国際学会)を公表すること。
国文学専攻	当該研究分野において、学術雑誌に論文を3篇以上発表すること(うち1篇は審査付論文とする)。
美学芸術学専攻	当該研究分野において、学術雑誌に論文を2篇以上発表し(うち1篇は審査付論文とする)、かつ学会発表を2回以上行うこと。

9. 博士学位論文審査基準は下記のとおり

大学院文学研究科 博士論文審査基準

1. 趣旨

大学院設置基準第14条の2第2項「大学院は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。」に基づいて、博士論文審査基準を以下のように定める。

2. 審査基準

(1) 内容的要件

① 研究テーマの妥当性

研究目的とその必要性、学術的意義を明確に述べていること。

② 先行研究との関連性

先行研究や関連研究を十分に検討し、的確に理解していること。

③ 研究方法の妥当性

研究テーマ及び問題設定に対して適切な研究方法を選択していること。

④ 論理の一貫性・結論の明確性

一貫した論述を展開し、明確な論拠のもとに適切な結論を導き出していること。

⑤ 学界への貢献

独自性を示し、当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。

(2) 倫理的要件

研究計画の立案及び遂行、研究資料の収集及び管理、研究成果の発表並びに著作権に関して、適切な倫理的配慮がなされていること。

(3) 形式的要件

使用言語、規定分量、文献の引用方法、注、図表、資料、参考文献リストの取扱い等については、各専攻で別途定める。

10. 博士学位論文作成のパターンは下記のとおり

	3月末学位取得の場合	9月末学位取得の場合
博士学位論文提出 予備審査申請	学位取得前年度末まで	学位取得前年度 春学期末まで
博士学位論文提出 予備審査	学位取得年度 春学期始め	学位取得前年度 秋学期始め
博士学位論文提出条件充足 博士学位論文提出	11月末	学位取得前年度 3月末
論文査読、総合試験	12月	学位取得年度 4～6月
論文審査終了 (論文審査委員会)	1月上旬	6月末
研究科委員会	1月下旬	7月
研究科長会	3月	9月
学位授与式 課程修了	3月末	9月末

- ※ 3月末学位取得が標準的な課程修了パターンですが、3年以上在学する場合は9月末学位取得も可能です。
- ※ 博士学位論文提出に関する詳細資料は、5月以降に文学研究室事務室(徳照館1階)で配布する「学位論文提出要領」等の資料で確認してください。
- ※ 提出の際には、専攻教務主任、事務室に相談の上、手続きを確認してください。

科目登録について(登録要領)

科目の登録は、1年間の学習方針を決定すると同時に、次年度以降の履修にも影響しますので、計画性のある選択をすることが望まれます。

登録の手続きについては、本冊子記載の内容のほか、『履修要項』『シラバス』等を熟読のうえ、各自で確実に科目登録の手続きをとってください。

1. 登録手順の流れ

時間割作成

登録前に指導教員と登録相談を行う(必須)。

科目登録表記入

科目登録表に必要な事項を記入。

専攻教務主任の確認

科目登録表に専攻教務主任の受付(確認)印を受領。

科目登録表提出

科目登録日までに、今出川キャンパス教務センター(文学研究科)に提出。

科目登録 DUET(WEB)

DUET(WEB)で登録手続きを行う。

登録科目確認

科目登録表に記入した科目が間違いなく登録されているか、登録エラーが無いか確認する。

登録エラー修正

登録エラーがある場合は、今出川キャンパス教務センター(文学研究科)で登録修正手続きを行う。
(注)登録エラー以外の変更は認められない。
(注)登録エラーの場合は必ずエラー修正手続きを行う。

履修科目確認(WEB)

登録エラー修正を行った者は、正しく修正されているか確認する。

※授業開始後、履修中止を希望する場合は、所定の期間に今出川キャンパス教務センター(文学研究科)にて手続きを行ってください(詳細は別途掲示にてご確認ください)。

2. 科目登録表の作成および科目登録(WEB)について

(1) 科目登録手続き概要

- ① 事前に指導教員と登録相談をしたうえで「科目登録表」を作成し、作成後、専攻教務主任の確認印を受領してください。また、他専攻・他研究科科目等を登録する場合は、該当の専攻教員の許可を必ず得てください。
- ② 専攻教務主任の確認印が押印された「科目登録表」を、科目登録日までに(WEB登録前に)今出川キャンパス教務センター(文学研究科)に提出してください。提出後、各自 DUET (WEB) で登録手続きを行ってください。

(2) 科目登録表 記入方法

- ① 学生 ID、氏名、フリガナを記入します。
- ② 登録期間に連絡のとれる電話番号を記入します(携帯電話番号が望ましい)。
- ③ 科目登録表を2枚以上提出する場合のみ、通し番号(1, 2…)を記入します。科目登録表が1枚であれば、通し番号欄は空欄のままにしてください。
- ④ 本年度履修する科目名、クラス、担当者、科目コード、クラスコードを記入します。
- ⑤ 科目コード、クラスコードについては、次のとおり記載しています。
 - 文学研究科授業科目…『大学院履修要項』
 - 他研究科授業科目……『大学院履修要項』
 - 学部授業科目…学部『履修要項』または『登録要領』
 - 関西四大学大学院交流研究生として他大学大学院科目の履修を希望する場合次の科目コードを記入してください。
4単位科目→“30200001”、2単位科目→“30200002”
- ⑥ その他注意事項
 - クラス番号のない科目については、科目コードのみ記入してください。
 - クラス番号が2桁以下の場合は、“0”で始まる3桁にしてください。
 - 週2回の授業がある科目は、科目コードは1つだけ記入してください。
 - 汚したり、折り曲げたり、水に濡らしたりしないよう、取り扱いには注意してください。
 - 次ページの「記入例」を参照してください。

(この用紙は、直接機械処理するため、汚したり折り曲げたりしないでください。)

一般科目登録表 (先行登録科目は一切記入しないこと)

文字記入例(「4」と「BとD」と「6とG」は特に注意)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J K L M Z

※学生 ID は左詰めで記入のこと

学生 ID	1302190001	2枚提出する場合のみ、通し番号1/2, 2/2を記入すること
-------	------------	--------------------------------

フリガナ	ニジマ タロウ
氏 名	新島 太郎
連絡先 (携帯電話)	080-XXXX-XXXX

科目名・クラス (担当者)	科目コード	クラスコード	種別
科学思想史特講 I (新)	3 0201215		
科学思想史特講 II (新)	3 0201216		
科学思想史演習 I (新)	3 0201231		
科学思想史演習 II (新)	3 0201232		
論文 ()	3 0201099		
関西四大学 大学院科目 (4単位) ()	3 0200001		
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			

科目名・クラス (担当者)	科目コード	クラスコード	種別
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
専攻教務主任 確認			主任印

※科目コードの1桁目は以下の課程を表す。

学部科目 : 1、大学院前期(修士)課程科目 : 3、大学院後期課程科目 : 4 一貫制課程科目 : 5、専門職学位課程科目 : 6

受付	画面処理	一括処理	照合

登録要領

— MEMO —

3. 2019 年度大学院文学研究科登録関係日程表

月 日	内 容	時 間	場 所
3 月 25 日 (月)	成績通知 (DUET (WEB)) 登録書類交付	9 : 30 ~ 11 : 30 13 : 00 ~ 17 : 00	RY105
4 月 3 日 (水)	入学式	10 : 00 ~	栄光館
	学習指導 (新入生) 哲学専攻 英文学・英語学専攻 文化史学専攻 (日本史) 文化史学専攻 (西洋史) 国文学専攻 美学芸術学専攻	11 : 00 ~	RY429 (T2 階 第 1 共同利用室) RY430 RY431 RY432 (M4 階 美学芸術学専攻 共同研究室)
4 月 4 日 (木)	登録相談 国文学専攻	15 : 30 集合	RY304
4 月 5 日 (金)	登録相談 哲学専攻 英文学・英語学専攻 文化史学専攻 (日本史) 文化史学専攻 (西洋史) 美学芸術学専攻	10 : 00 ~ 11 : 30 10 : 00 ~ 11 : 30 14 : 00 ~ 15 : 30 10 : 00 集合 10 : 00 ~ 11 : 30	中川研究室 (T510) 金津研究室 (T219) 佐野研究室 (T517) 堀井研究室 (T606) 各研究室 (徳照館)
4 月 4 日 (木) ~ 6 日 (土)	科目登録表 提出	窓口事務取扱時間	今出川キャンパス 教務センター (文学研究科)
4 月 5 日 (金) ~ 6 日 (土)	科目登録 (DUET (WEB))	4/5 10:00 ~ 4/6 17:00	
4 月 8 日 (月)	春学期講義開始		
4 月 11 日 (木) ~ 12 日 (金)	登録科目確認 エラー修正受付	掲示板を参照	掲示板を参照
4 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金)	履修科目確認 (DUET (WEB))		

- ※ 大学院先行登録科目については、文学研究科掲示板 (M1 階) を参照のこと。
- ※ 変更等の連絡事項がある場合は、掲示により周知する。
- ※ 教室の略号 : M (明德館)、N (寧静館)、S (至誠館)、T (徳照館)、RY (良心館)
- ※ 大学 HP (同志社大学ホーム>在学生>科目登録日程)
(https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/course_reg.html) も参照のこと。

4. 時間割作成上の注意事項

(1) 時間割重複の禁止

時間割上、同一講時の科目を重複して登録することはできません。

なお、『履修要項』履修科目表の週時間欄で「4」と記載されている科目については、週2回の授業があります。時間割の重複に注意してください。

(2) 学部授業科目の登録について

学部授業科目には、履修条件が定められている科目があります。また、科目登録日程が分散しています（先行・一般登録等）。詳細については、当該科目の『履修要項』、または、学部科目の『登録要領』などで確認してください。

新入生で、既に登録期間が終了している学部授業科目の登録（先行登録等）を希望する人は、至急今出川キャンパス教務センター（文学研究科）まで相談に来てください。

(3) 登録エラー例

- 時間割重複 …… 週2回の授業がある科目についての時間割上の見落とし等
- 受講できない …… 他専攻・他研究科科目などで、履修が認められていない科目を登録したため。
- 当該科目コードなし …… 間違った科目コードで登録したため。ただし、違う科目として登録されてしまう場合もあるので、必ず「登録科目確認表」を受け取り、確認してください。
- その他 …… 条件科目未履修、履修年次誤りなど

(4) 修士学位論文の登録について

今年度、修士学位論文の提出を予定している人は、必ず「論文」を登録してください。

学業成績について

1. GPA(GradePointAverage)制度について

各科目の成績評価を、学部においては5段階(A, B, C, D, F)、大学院においては7段階(A⁺, A, B⁺, B, C⁺, C, F)で評価し、各成績評価段階に4.0～0.0(大学院の場合、4.5～0.0)の評点(GradePoint)を付与して、1単位あたりの評点平均値(GradePointAverage)を算出する。

(1) 判定基準

<学部>

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

<大学院>

評価	評点	判定内容
A ⁺	4.5	特に優れた成績を示した
A	4.0	A ⁺ に準じた成績を示した
B ⁺	3.5	優れた成績を示した
B	3.0	B ⁺ に準じた成績を示した
C ⁺	2.5	妥当と認められる成績を示した
C	2.0	C ⁺ に準じた成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

上記段階評価以外の評価は、(PAS(合格)・FAL(不合格)・TFC(認定))とする。

(2) GPA算出方法

$$(A^+ \times 4.5 + A \times 4.0 + B^+ \times 3.5 + B \times 3.0 + C^+ \times 2.5 + C \times 2.0) / (A^+ + A + B^+ + B + C^+ + C + F)$$

(A⁺～Fはそれぞれの合計単位数)

(3) 不合格科目と再履修

FあるいはFAL評価であった科目は不合格科目とし、単位の修得とみなさない。再履修は、不合格科目に限り認める(指導教授の許可がある場合は合格科目も再履修可とするが自由科目として登録し、修了単位には参入しない)。

(4) GPA算出方法

A⁺～Fの段階で評価された全科目の評価を評点に換算して、1単位あたりの評点平均値を学期毎および累積で算出する。F評価であった科目を再履修してC(学部科目の場合D)以上の評価を得た場合、最終のF評価は新たな評価に書き換えられる。単位が設定されていない科目およびA⁺～F以外の評価がついている科目は、GPAに算入されない。

2. 科目登録と履修中止

原則として、1年間の履修科目の登録は、春学期科目登録期間に終わってください。授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断した科目については、受講開始約1ヶ月後に履修中止期間がありますので、その際に履修中止の手続きをとることを認めます。詳細は掲示で周知します。また、秋学期授業開始前に、秋学期科目に限り登録変更を受付します。

3. 授業クラス毎の評点の平均値や分布の公表

各学部・研究科が定める科目および少人数の科目等を除き、授業クラス毎の評点の平均値や分布を、大学ホームページ上でシラバス等とリンクして公表し、成績評価基準の透明化をはかります。

4. クレーム・コミッティ制度の実施

受講している科目の授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合には、今出川キャンパス教務センター（文学研究科）に相談してください。また、成績評価に関する質問や異議申し立てについては、定められた成績通知書交付日から1週間以内に今出川キャンパス教務センター（文学研究科）に相談してください。

学生からクレームが提出されると、クレーム・コミッティが担当者から事実関係を調査し、原因や対策などについて学生に回答します。なお、いかなる場合であっても相談者の学籍番号や氏名が授業担当者に明かされることはなく、相談によって不利益を被ることはありません。

5. 追試験制度について(試験期間中の掲示もあわせてご確認ください)

(1) 対象者

学部学生（正規学生、科目等履修生、外国人留学生特別学生）の全年次生を対象とします。ただし、大学院生が免許・資格取得等のため学部科目を履修する場合、あるいは大学院科目が学部科目と合併で開設され、当該科目を履修する場合、大学院生も追試験の受験対象者となります。

(2) 対象試験範囲

病気またはやむを得ない事由により、春学期および秋学期の終わりに実施される定期試験を受験できなかった上記の授業科目に対して実施するものです。ただし、定期試験以外に臨時に実施するテストについては、学部教授会の判断により、追試験の対象とすることができます。

(3) 申請方法

追試験受験希望者は、「追試験願」を当該科目試験終了後3日以内に、今出川キャンパス教務センター（文学研究科）に提出してください。

(4) 追試験の得点

減点はしません。

大学院交流研究生

同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学の4大学では、大学院生の科目履修交流について下記の申し合わせにより実施されています。

- (1) 大学院学生が研究上の必要により他大学の大学院科目の履修を希望するときは、在籍大学大学院研究科長または指導教員の許可を得て、在籍大学に申し出ることができる。この場合、研究科長または当該指導教授は、研究科委員会の承認を得、また学生の希望する他大学の大学院の学科目担当教授に予め諒解を求めるものとする。
- (2) 前条の手続きによって他大学より学科目履修の申し出を受けたときは、当該大学は、研究科委員会の議を経て、この申し出を許可するものとする。
- (3) 在籍大学の大学院研究科委員会は、この手続きによって他大学の大学院学科目を履修した学生に対し、在籍大学の大学院学則の許す範囲内において、その学科目の単位を認定することができる。
- (4) この手続きによる聴講料については、当分の間その徴収を行わない。ただし、実験等に要する費用はこれを徴収することができる。
- (5) この申し合わせによる学科目履修交流のため、4大学は毎学年の開講科目・時間割等を交換するものとする。
- (6) 成績は2005年度から「認定」もしくは「不合格」で評価する。ただし登録取消は可能である。

1. 提出書類

- ・ 関西四大学単位互換履修生願書
(用紙は今出川キャンパス教務センターにて配布します)
- ・ 写真2枚 (3.0×2.5cm、1枚は願書に貼付)

2. 書類の提出期限

4月上旬・9月下旬 (詳細は掲示板にて確認してください)

各種取り扱いについて

1. 所定の単位修得者の取り扱い

- (1) 博士課程の前期課程において、2年以上在学し、所定の単位を修得した者は、次の学期から授業料及び教育充実費を半額とする。ただし、学部又は大学院の授業科目の履修を希望するもの及び長期履修学生については、適用しない。
- (2) 博士課程の後期課程において、3年以上在学した者は、次の学期から授業料及び教育充実費を半額とし、実験実習料は納入を要しない。ただし、学部又は大学院の授業科目の履修を希望するもの及び長期履修学生については、適用しない。

※詳細は、「大学院履修要項」を確認してください。

2. 研究室および研究室事務室について

- (1) 文学研究科には研究室があり、各専任教員の研究室があります。
- (2) 研究室関連の業務を執り行う文学研究室事務室が徳照館1階にあり、図書の貸出し、学会報の配布等を行っています。

3. 免許・資格

教員免許、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭の取得を目指す学生は、科目登録を行う前に、必ず免許資格課程センター事務室で課程登録等の相談を行ってください。

4. 奨学金

主な奨学金については、学生生活課今出川奨学・生活係（TEL:075-251-3280）が取り扱います。

— MEMO —

2019年度 哲学専攻 時間割

	1	2	3	4	5	6
月			○ 教育哲学特講 I [M304] (徳元) △ 教育哲学特講 II [M304] (徳元)	○ 歴史哲学特講 I [M309] (中川) △ 歴史哲学特講 II [M309] (中川)	○ 歴史哲学演習 I [M309] (中川) △ 歴史哲学演習 II [M309] (中川) ○ 科学思想史特講 I [M305] (新) △ 科学思想史特講 II [M305] (新) * 哲学および哲学史特講研究 I [研究室] (藤田)	○ 科学思想史演習 I [M305] (新) △ 科学思想史演習 II [M305] (新) * ○ 演習 I ① [研究室] (藤田) * △ 演習 II ① [研究室] (藤田)
火		○ 東洋哲学特講 I [研究室] (林) △ 東洋哲学特講 II [研究室] (林)	○ 東洋哲学演習 I [研究室] (林) △ 東洋哲学演習 II [研究室] (林)			
水	○ 社会思想史特講 I [M308] (中村) △ 社会思想史特講 II [M308] (中村)	○ 社会思想史演習 I [M309] (中村) △ 社会思想史演習 II [M309] (中村)			○ 現代哲学特講 I [M309] (和田) △ 現代哲学特講 II [M309] (和田)	
木	○ 理論哲学特講 I [研究室] (藤田) △ 理論哲学特講 II [研究室] (藤田)	○ 理論哲学演習 I [研究室] (藤田) △ 理論哲学演習 II [研究室] (藤田)	○ 近世哲学史特講 I [研究室] (藤田) △ 近世哲学史特講 II [研究室] (藤田)	○ 古代哲学史特講 I [M305] (山口) △ 古代哲学史特講 II [M305] (山口)		
金					○ 中世哲学史特講 I [M303] (Graud) △ 中世哲学史特講 II [M303] (Graud) * 哲学および哲学史特講研究 II [研究室] (林) * 哲学および哲学史特講研究 IV [研究室] (中川)	○ 研究室] (林) ○ 研究室] (林) ○ 研究室] (中川) ○ 研究室] (中川)
土	○ 教育哲学史特講 I [M305] (新) △ 教育哲学史特講 II [M305] (新)	○ 教育哲学演習 I [M305] (新) △ 教育哲学演習 II [M305] (新)	○ 哲学総合演習 I (藤田) [M401] (藤田・林・新・中川・中村・Graud・藤田) △ 哲学総合演習 II (藤田) [M401] (藤田・林・新・中川・中村・Graud・藤田)	* 哲学総合演習(藤田) [M401] (藤田・林・新・中川)	* 哲学および哲学史特講研究 III [M305] (新) * 哲学および哲学史特講研究 IV [研究室] (中川)	○ 研究室] (新) ○ 研究室] (新)

○……春学期 △……秋学期 *……後期課程科目

2019年度 英文学・英語学専攻 時間割

	1	2	3	4	5	6	7
月	<p>○ 英語教育法 [研究室] (赤松)</p> <p>○ 英米文学演習Ⅰ⑤ [M305] (白川)</p> <p>△ 応用英語学研究法 [研究室] (赤松)</p> <p>△ ルネッサンス英文学 [M307] (藤井)</p> <p>△ 英米文学特講Ⅲ [M305] (圓月)</p> <p>△ 英米文学演習Ⅰ⑥ [M306] (白川)</p>	<p>○ 英語教育法 [研究室] (赤松)</p> <p>○ 英米文学演習Ⅱ② [M303] (勝山)</p> <p>△ 応用英語学研究法 [研究室] (赤松)</p> <p>△ ルネッサンス英文学 [M309] (勝山)</p> <p>△ 英米文学特講Ⅰ⑦ [M307] (藤井)</p> <p>△ 英米文学特講Ⅱ⑦ [M305] (圓月)</p> <p>△ 英米文学演習Ⅰ③ [M306] (白川)</p>	<p>○ 英米文学演習Ⅱ① [研究室] (勝山)</p> <p>△ ルネッサンス英文学 [M309] (勝山)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ② [研究室] (石塚)</p>	<p>○ アメリカ文学 [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学演習Ⅱ④ [研究室] (赤松)</p> <p>△ 英語学演習Ⅰ④ [研究室] (赤松)</p> <p>△ 英米文学演習Ⅰ⑦ [研究室] (白井)</p> <p>○ 英語学特講Ⅰ① [研究室] (菊田)</p> <p>△ 英語学特講Ⅱ① [研究室] (菊田)</p> <p>○ 英語学特講Ⅰ [研究室] (菊田)</p> <p>○ 演習Ⅰ⑧ [M306] (LOVEDAY)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑧ [M306] (LOVEDAY)</p> <p>○ 演習③ [M306] (LOVEDAY)</p>	<p>○ アメリカ文学 [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [M305] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p>	<p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p>	<p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英語学Ⅰ [研究室] (藤井)</p>
火							
水	<p>△ 近代英文学 [M307] (日井)</p> <p>△ 英米文学特講Ⅰ [M305] (藤井)</p> <p>△ 英語学特講Ⅰ [M306] (LOVEDAY)</p> <p>○ 演習Ⅰ⑧ [M306] (LOVEDAY)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑧ [M306] (LOVEDAY)</p> <p>○ 演習③ [M306] (LOVEDAY)</p> <p>○ 演習④ [M306] (LOVEDAY)</p>	<p>○ 英米文学演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>△ 英米文学演習Ⅰ② [M303] (勝山)</p> <p>△ 英米文学演習Ⅰ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅰ④ [M307] (林)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ④ [M307] (林)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅳ [M307] (林)</p>	<p>○ 英米文学演習Ⅱ⑥ [M307] (圓月)</p> <p>○ 英米文学演習Ⅱ⑥ [研究室] (藤井)</p> <p>△ 英米文学演習Ⅰ⑥ [M307] (圓月)</p> <p>△ 英米文学演習Ⅰ⑥ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅰ⑦ [M306] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ⑦ [M306] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅲ [M306] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅰ⑥ [M305] (林)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑥ [M305] (林)</p> <p>○ 演習⑥ [M305] (林)</p>	<p>○ 英語教育理論Ⅰ [M308] (若木)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅴ [M306] (白川)</p> <p>○ 英米文学演習Ⅱ④ [M305] (林)</p> <p>△ 作家研究Ⅲ [M306] (齊藤)</p> <p>△ 英語学演習Ⅰ③ [M307] (能登野)</p>	<p>○ 作家研究Ⅴ [研究室] (金津)</p> <p>△ 英語学Ⅱ [M307] (菊田)</p> <p>△ 英米文学特講Ⅲ [M305] (圓月)</p>	<p>○ 英語学演習Ⅱ① [研究室] (菊田)</p> <p>△ 英語学演習Ⅰ① [研究室] (菊田)</p> <p>○ 英語学特講Ⅰ② [研究室] (赤松)</p> <p>○ 英語学特講Ⅱ② [研究室] (赤松)</p> <p>○ 英語学特講Ⅱ [研究室] (赤松)</p>	
木	<p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ⑤ [M305] (齊藤)</p>	<p>○ 英米文学演習Ⅱ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅱ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅲ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅳ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅴ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅵ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅶ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅷ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅸ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅹ⑧ [M305] (齊藤)</p>	<p>○ 英米文学特講Ⅱ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅲ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅳ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅴ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅵ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅶ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅷ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅸ⑧ [M305] (齊藤)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅹ⑧ [M305] (齊藤)</p>	<p>○ 英語学特講Ⅳ [M305] (林)</p> <p>○ 英米文学特講Ⅴ [M306] (白川)</p> <p>○ 英米文学演習Ⅰ④ [M305] (林)</p> <p>○ 演習Ⅰ② [M306] (齊藤)</p> <p>○ 演習Ⅱ② [M306] (齊藤)</p> <p>○ 演習② [M306] (齊藤)</p>	<p>○ 作家研究Ⅴ [研究室] (金津)</p> <p>△ 英語学Ⅱ [M307] (菊田)</p> <p>△ 英米文学特講Ⅲ [M305] (圓月)</p>	<p>○ 英語学演習Ⅱ⑤ [研究室] (藤井)</p> <p>○ 演習Ⅰ⑧ [M306] (LOVEDAY)</p> <p>○ 演習③ [M306] (LOVEDAY)</p> <p>○ 演習④ [M306] (LOVEDAY)</p>	

2019年度 英文学・英語学専攻 時間割

1	2	3	4	5	6	7
△ 作家研究 IV [研究室] (下橋)	○ 英語修得法 ① [研究室] (川島) ○ 英語学演習 II ② [M306] (LOVEDAY) △ 作家研究 IV [研究室] (下橋) △ 英米文学演習 I ③ [研究室] (石塚) △ 英語学特講 II [M309] (上田) △ 英語学演習 I ② [M306] (LOVEDAY)	○ 作家研究 II [M309] (金谷) ○ 英米文学演習 II ④ [研究室] (石塚) △ 作家研究 I [M303] (石塚) △ 英米文学特講 II [研究室] (CHANDLER) △ 英語学特講 II [M309] (上田) ○ 英米文学特講研究 I ⑥ (2014年度以降生) * △ 英米文学特講研究 II ⑥ (2014年度以降生) 英米文学特講研究 VI (2013年度以前生) * ○ 演習 I ① (2014年度以降生) * △ 演習 II ① (2014年度以降生) * 演習① (2013年度以前生)	○ 作家研究 II [M309] (金谷) ○ 英米文学演習 II ④ [研究室] (川島) ○ 英語学 III [M301] (能登部) △ 作家研究 I [M303] (石塚) △ 英米文学演習 I ④ [研究室] (川島) △ 作家研究 III [M307] (齊藤) △ 英米文学特講 II [研究室] (CHANDLER) △ 英語教育理論 II [M301] (能登部) * ○ 英米文学特講研究 I ① (2014年度以降生) * △ 英米文学特講研究 II ① (2014年度以降生) * 英米文学特講研究 I (2018年度以前生) * ○ 英米文学特講研究 I ⑧ (2014年度以降生) * △ 英米文学特講研究 II ⑧ (2014年度以降生) * 英米文学特講研究 VI (2013年度以前生) ○ 演習 I ③ (2014年度以降生) * △ 演習 II ③ (2014年度以降生) * 演習③ (2013年度以前生) * ○ 演習 ④ (2014年度以降生) * △ 演習 II ④ (2014年度以降生) * 演習④ (2013年度以前生)	○ 英語学 III [M301] (能登部) ○ 英米文学特講 IV [M305] (林) [M301] (能登部) △ 英語教育理論 II [研究室] (圓月) * ○ 演習 I ① (2014年度以降生) * △ 演習 II ① (2014年度以降生) * ○ 演習 ① (2013年度以前生)		
金						
土		* 英文学・英語学総合特設演習 [M301] (金田)				

○……春学期 △……秋学期 *……後期課程科目

2019年度 文化史学専攻 時間割

	1	2	3	4	5	6	
月		<p>西洋近代文化史演習 (2018年度以降生) [M301] (慶部)</p> <p>西洋近代文化史演習 (2017年度以前生) [M301] (小林)</p> <p>* 文化史学特殊研究VI [M301] (小林)</p>	<p>日本古代文化史特講 [M305] (北)</p> <p>西洋文化史特講II [M307] (竹中)</p>	<p>日本近代文化史特講 [M301] (小林)</p> <p>西洋近代文化史特講I (2016年度以降生) [M301] (慶部)</p> <p>西洋近代文化史特講I (2017年度以前生) [M301] (慶部)</p> <p>西洋近代文化史特講II (2016年度以降生) [M301] (慶部)</p> <p>西洋近代文化史特講II (2017年度以前生) [M301] (慶部)</p>	<p>日本文化史特講演習I [研究室] (佐野)</p> <p>○ 西洋古代文化史特講I [M307] (南川)</p> <p>△ 西洋古代文化史特講II [M307] (南川)</p>		
火	<p>○ アフリカ文化史特講I [M306] (山田史)</p> <p>△ アフリカ文化史特講II [M306] (山田史)</p>	<p>東洋文化史特講 [M304] (古藤)</p> <p>文化史学特殊研究V [研究室] (井上)</p> <p>* 文化史学総合演習I (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習II (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習III (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習IV (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習V (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VI (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VII (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VIII (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習IX (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習X (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習XI (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習XII (西田史) [M304] (慶部)</p>	<p>日本中世文化史特講 [M304] (竹原)</p>	<p>日本古代文化史演習 [M307] (北)</p> <p>○ 中東文化史特講I [研究室] (能井)</p> <p>△ 中東文化史特講II [研究室] (能井)</p>	<p>中東文化史演習 [研究室] (能井)</p> <p>日本近代文化史演習 [M301] (小林)</p>	<p>文化史学の理論 [研究室] (西原)</p> <p>文化史学特殊研究III [研究室] (能井)</p> <p>文化史学特殊研究IV [研究室] (山田史)</p> <p>文化史学特殊研究VII [研究室] (慶部)</p>	
水	<p>* ○ 文化史学総合演習I (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習II (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習III (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習IV (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習V (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VI (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VII (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VIII (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習IX (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習X (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習XI (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習XII (西田史) [M304] (慶部)</p>	<p>文化史学総合演習I (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習II (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習III (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習IV (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習V (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VI (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VII (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習VIII (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習IX (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習X (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習XI (西田史) [M304] (慶部)</p> <p>文化史学総合演習XII (西田史) [M304] (慶部)</p>		<p>○ 西洋文化史特講I [M309] (金澤)</p>		<p>* ○ 演習I (能井)</p> <p>* ○ 演習II (能井)</p> <p>* ○ 演習III (能井)</p> <p>* △ 演習IV (能井)</p> <p>* △ 演習V (能井)</p>	<p>[研究室] (能井)</p> <p>[研究室] (山田史)</p> <p>[752] (慶部)</p> <p>[研究室] (能井)</p> <p>[研究室] (山田史)</p> <p>[752] (慶部)</p>
木	<p>考古学特講I (水ノ江)</p>	<p>考古学演習 (水ノ江)</p> <p>西洋中世文化史演習 [M309] (阿部)</p>	<p>日本文化史特講II [研究室] (井上)</p> <p>○ 文化史研究方法I [M309] (藤辺)</p> <p>△ 文化史研究方法II [M309] (藤辺)</p>		<p>○ 西洋中世文化史特講I [M309] (阿部)</p> <p>△ 西洋中世文化史特講II [M309] (阿部)</p>		
金	<p>日本近世文化史演習 [研究室] (西園)</p> <p>日本文化史特講演習II [研究室] (井上)</p> <p>* 文化史学特殊研究II (水ノ江)</p>	<p>日本文化史特講I [M301] (上田裕)</p> <p>アフリカ文化史演習 [研究室] (山田史)</p>	<p>日本文化史特講III [M307] (佐野)</p> <p>○ 西洋文化史特講III [M304] (藤原)</p> <p>△ 西洋文化史特講IV [M304] (藤原)</p>	<p>日本近世文化史特講 [研究室] (西園)</p> <p>* ○ 演習I (水ノ江)</p> <p>* △ 演習II (水ノ江)</p>	<p>文化史特講 [M309] (田中敏)</p> <p>文化史学特殊研究I [研究室] (佐野)</p>		
土		<p>* ○ 演習I (佐野)</p> <p>* ○ 演習II (小林)</p> <p>* △ 演習III (佐野)</p> <p>* △ 演習IV (小林)</p>		<p>* ○ 文化史学総合演習I (日本史) [M401] (藤原)</p> <p>* △ 文化史学総合演習II (日本史) [M401] (藤原)</p> <p>* △ 文化史学総合演習III (日本史) [M401] (藤原)</p> <p>* △ 文化史学総合演習IV (日本史) [M401] (藤原)</p>	<p>文化史学総合演習I (水ノ江)</p> <p>文化史学総合演習II (水ノ江)</p>	<p>文化史学総合演習I (水ノ江)</p> <p>文化史学総合演習II (水ノ江)</p>	

○……春学期 △……秋学期 *……後期課程科目

2019年度 国文学専攻 時間割

	1	2	3	4	5	6	
月		<p>○ 日本語学理論研究Ⅱ [M304] (安室)</p> <p>△ 日本文学史研究Ⅱ [M308] (前田)</p>	<p>○ 日本文学特講Ⅴ [M308] (山田和)</p> <p>△ 日本文学特講演習Ⅵ [M308] (山田和)</p>	<p>○ 日本文学理論研究Ⅲ [M305] (萩田)</p> <p>△ 日本文学理論研究Ⅳ [M305] (飯倉)</p>			
火	<p>* 日本文学特講研究Ⅵ [M303] (西川)</p>	<p>○ 日本文学特講演習Ⅲ [M306] (榎本)</p> <p>△ 日本文学特講Ⅲ [M306] (榎本)</p>	<p>△ 日本語学理論研究Ⅳ [M303] (藤山)</p>	<p>○ 日本文学史研究Ⅲ [M303] (中川)</p> <p>△ 日本文学史研究Ⅳ [M303] (理恵)</p>	<p>○ 日本文学特講Ⅷ [M303] (西川)</p> <p>△ 日本文学特講演習Ⅷ [M303] (西川)</p>		
水	<p>* 日本文学特講研究Ⅷ [M303] (田中勲)</p> <p>* 日本文学特講研究Ⅴ [M303] (田中勲)</p> <p>* 演習Ⅰ⑤ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅱ⑤ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅲ④ (2014年度以前)</p>	<p>* 日本文学特講研究Ⅴ [M306] (藤井)</p> <p>* 日本文学特講研究Ⅳ [M306] (藤井)</p> <p>* 演習Ⅰ⑥ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅱ⑥ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅲ⑥ (2014年度以前)</p>			<p>○ 日本文学理論研究Ⅰ [M305] (中尾)</p> <p>△ 日本文学理論研究Ⅱ [M305] (中尾)</p>		
木		<p>○ 日本語学特講演習Ⅰ [M306] (藤井)</p> <p>△ 日本語学特講Ⅱ [M306] (藤井)</p> <p>* 演習Ⅰ⑦ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅱ⑦ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅲ⑦ (2014年度以前)</p>	<p>○ 日本文学特講Ⅳ [M304] (藤田)</p> <p>△ 日本文学特講演習Ⅳ [M304] (藤田)</p>		<p>○ 日本文学特講演習Ⅷ [M304] (田中勲)</p> <p>△ 日本文学特講Ⅶ [M304] (田中勲)</p>	<p>* 演習Ⅰ⑦ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅱ⑦ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅲ⑦ (2014年度以前)</p>	<p>[M304] (田中勲)</p> <p>[M304] (田中勲)</p> <p>[M304] (田中勲)</p>
金		<p>△ 日本語学理論研究Ⅰ [M304] (榎本)</p> <p>○ 日本語学理論研究Ⅲ [M307] (尾山)</p> <p>○ 日本文学史研究Ⅰ [M305] (瀬崎)</p>			<p>* 日本語学特講研究Ⅱ [M304] (藤井)</p> <p>* 演習Ⅰ④ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅱ④ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅲ④ (2014年度以前)</p>	<p>* 日本文学特講研究Ⅳ [M304] (榎本)</p> <p>* 日本文学特講研究Ⅵ [M304] (榎本)</p> <p>* 演習Ⅰ⑧ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅱ⑧ (2015年度以降)</p> <p>* 演習Ⅲ⑧ (2014年度以前)</p>	<p>[M304] (榎本)</p> <p>[M304] (榎本)</p> <p>[M304] (榎本)</p> <p>[M304] (榎本)</p> <p>[M304] (榎本)</p>
土	<p>○ 日本文学・日本語学総合演習Ⅰ [M307] (榎本・西川・藤井・瀬崎)</p> <p>○ 日本文学・日本語学総合演習Ⅱ [M308] (藤田・田中勲・山田和・理恵)</p>	<p>* 総合演習 [M308] (藤田・榎本・山田和・田中勲・西川・藤井)</p>	<p>* 日本文学特講研究Ⅲ [M304] (藤田)</p>	<p>演習Ⅰ③ (2015年度以降)</p> <p>演習Ⅱ③ (2015年度以降)</p> <p>演習Ⅲ③ (2014年度以前)</p>	<p>[M304] (藤田)</p> <p>[M304] (藤田)</p> <p>[M304] (藤田)</p>		

○……春学期 △……秋学期 *……後期課程科目

2019年度 美学芸術専攻 時間割

1	2	3	4	5	6
日	○ 芸術哲学特講II [M306] (吉岡)	○ 芸術史学特講I [M303] (大橋)	○ 美術史学特講I [M304] (清瀬) △ 美術史学特講II [M408] (清瀬)	○ 美術史学特講I 演習 [M308] (清瀬) △ 文芸学特講II [M308] (淺野) △ 美術史学特講II 演習 [M308] (清瀬) ○ 美術史学特講I 演習(芸術学専攻) (浅野) ○ 美術史学特講I 演習(芸術学専攻) (浅野) ○ 美術史学特講II 演習(芸術学専攻) (浅野) △ 美術史学特講II 演習(芸術学専攻) (浅野) △ 美術史学特講II 演習(芸術学専攻) (浅野)	* ○ 美学芸術学特講演習I① (2019年度以降生) [M308] (株) * △ 美学芸術学特講演習II① (2019年度以降生) [M308] (株)
火	○ 芸術哲学特講I [M303] (大橋)	△ 美術史学特講II [M308] (藤田)	○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M304] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M304] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株)	○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株)	
水			○ 美学史学特講I [M301] (長野)	○ 美術史学特講I [M304] (根立) △ 美術史学特講IV [M304] (田田)	
木	○ 美学史学特講II [M307] (瀧)	○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達)	○ 美術史学特講III [M308] (安田) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達)	○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達) ○ 美術史学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (伊達)	* ○ 美学芸術学特講演習I⑤ (2019年度以降生) [M309] (越前) * △ 美学芸術学特講演習II⑤ (2019年度以降生) [M309] (越前)
金	○ 音楽学特講I [M308] (西村)	○ 美術史学特講III [M308] (河野) △ 美術史学特講IV [M308] (河野) ○ 文芸学特講I [M303] (藤田)	○ 美術史学特講III 演習 [M308] (河野) △ 美術史学特講IV 演習 [M308] (河野)	○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達) ○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達) ○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達) ○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達) ○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達) ○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達) ○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達) ○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達) ○ 美術史学特講III 演習(芸術学専攻) (株) [M304] (伊達)	* ○ 美学芸術学特講演習I⑦ (2019年度以降生) [M308] (河野) * △ 美学芸術学特講演習II⑦ (2019年度以降生) [M308] (河野)
土		○ 美学芸術学総合演習I [M308] (伊・清瀬・藤田・河野・伊達・大塚・HILARY PEDERSEN) △ 美学芸術学総合演習II [M308] (伊・清瀬・藤田・河野・伊達・大塚・HILARY PEDERSEN)	○ 美学芸術学総合演習(株) [M308] (株・清瀬・越前・伊達・河野)	○ 美学芸術学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美学芸術学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美学芸術学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株) ○ 美学芸術学特講III(芸術学専攻) (株) [M308] (株)	

○……春学期 △……秋学期 *……後期課程科目